

フランス語 (B) 〈J06A〉

配当年次	1 年次
授業科目単位数	2
科目試験出題者	浅岡 夢二
文責(課題設題者)	浅岡 夢二
教科書	基本 浅岡 夢二『フランス語 (B)』(中央大学通信教育部)

《授業の目的・到達目標》

1. 目的……フランス語 (B) は、初歩的なフランス語を、講読をつうじて身につけるためのプログラムである。辞書を引きながら易しい文章が読めるようになることを最終的な目的とする。また、フランス語 (C)、フランス語 (D) へ進むための基礎的な学力をつけることもその目的に入っている。
2. 到達目標……フランス文化に触れるためのフランス語の基礎力を養うことを目標としている。フランス語の力を使って、フランス文化の様々な面——文学、音楽、絵画、映画、建築、政治、料理など——に触れて、人生を豊かなものにしていただきたい。

《授業の概要》

このプログラムは、「教科書」と三枚の CD からなっている。まず、教科書を何度も繰り返して読み、内容を確実に理解してほしい。そして、CD を使い、何度も何度も繰り返し発音の練習をしていただきたい。

本文、単語、動詞の活用など、豊富で美しい音源が CD に含まれているので、時間のあるときにまず、それらを繰り返し聞き、その上で、自分で繰り返し発音し、また繰り返しノートに書き写し、最終的には、本文、単語、動詞の活用をすべて音声で覚えてほしい。

外国語の習得には、限定された情報を、完全に憶えることが非常に有効である。本プログラムの三枚の CD をマスターすれば、フランス語の発音の基礎に関しては、ほぼ完璧と言えるだろう。基礎をしっかりと固めておけば、その後の応用が楽になることは間違いない。

ぜひ、美しいフランス語の発音と、基礎的な学力を身につけてほしい。

《学習指導》

この科目と合わせて学習することが望ましい科目として、「フランス語 (A)」を推す。

一人で外国語を学ぶことはとても困難なことである。うまずたゆまず努力を続ける必要がある。楽器を習ったり、スポーツを習得したりするのと同じことだと思えばよい。つまり、上手にできるようになるまで、繰り返し、繰り返し、練習することである。

発音を身につけるには、CD による練習もちろん大切だが、それと同時に、発音に関する解説をよく読んで理解することも大切である。

美しいフランス語の発音ができるようになる日を夢見て、日々、着実に前進してほしい。

《成績評価》

試験(科目試験またはスクーリング試験)により最終評価する。

フランス語 (B) 〈J06A〉

◎課題文の記入：不要（課題記入欄に「課題文不要のため省略しました。」と記入すること）

◎字数制限：なし

第1課題

(1) 次の日本語をフランス語に訳しなさい。

1. これは何ですか？—これは家です。
2. 学校の前に男の子が数人います。
3. 彼らは先生ですか？—いいえ、彼らは先生ではありません。
4. あなたには娘さんがおありですか？—いいえ、私には娘はおりません。
5. 今日は天気がよい。
6. 君は何を探しているの？—私は猫を探しているの。
7. 私たちはこの仕事を選びます。
8. どこからいらっしゃったのですか、マダム？—フランスから来たのです。
9. こんにちは、アリス、どう、元気？
10. 私たちはフランスに行くために飛行機に乗ります。

(2) 次のフランス語を日本語に訳しなさい（辞書をしっかり引いて自分の言葉で明快に訳しましょう）。

1. Autrefois, on vivait beaucoup à la campagne. On habitait dans une maison, on avait un jardin où on cultivait des fruits, des légumes, des fleurs.
2. Quels sont les moyens de transport de votre ville? A Paris, ce sont le métro et l'autobus. Si vous ne connaissez pas très bien la ville, prenez le métro.
3. Manami loge à la Cité universitaire, dans le quatorzième arrondissement de Paris. Comme elle n'aime pas trop faire la cuisine, elle prend, en général, son repas au restaurant universitaire : c'est la solution la plus simple. On a moins de choix que dans les restaurants universitaires japonais; en plus, on risque souvent de faire la queue. Tant pis! Mais ça coûte moins cher que d'aller manger en ville. Un soir, Manami prend une entrée, du poulet avec du riz, quelques morceaux de pain et un dessert. Une étudiante blonde vient à sa table.

L'étudiante : Bonjour. D'où viens-tu ?

Manami : Je suis Japonaise. Et toi, tu viens d'où ?

L'étudiante : Je suis de nationalité allemande; mais ma mère est Italienne. Je suis venue en France il y a un mois pour améliorer mon français.

Manami : Qu'est-ce que tu fais à Paris ?

L'étudiante : Je suis des cours de français pour les étudiants étrangers à l'Alliance Française.

Manami : Tu parles déjà bien le français.

L'étudiante : Merci. En effet, je crois que j'ai fait beaucoup de progrès depuis un mois.

(3) 動詞 chercher を次の法・時制に活用させなさい。

1. 直説法現在
2. 直説法複合過去
3. 直説法単純未来
4. 直説法半過去
5. 条件法現在
6. 接続法現在

第2課題

(1) 次の日本語をフランス語に訳しなさい。

1. これは何ですか？ —これは万年筆です。
2. 庭に木が一本あります。
3. 君は歌手ですか？ —はい、私は歌手です。
4. 彼には子供はいますか？ —はい、3人います。
5. フランス語を学ぶには根気が必要です。
6. マリは音楽が好きではないんですか？ —いいえ、彼女は音楽が好きです。
7. ヴァンサンは両親の言うことをよく聞きません。
8. どこへいらっしゃるんですか？ —駅に行きます。
9. こんにちは、フランソワーズ、元気かい？
10. 彼女はもうすぐ来るだろうと思います。

(2) 次のフランス語を日本語に訳しなさい（辞書をしっかり引いて自分の言葉で明快に訳しましょう）。

1. Les gens travaillaient très dur à la ferme ou dans les champs et ils se déplaçaient à vélo. Ils n'avaient pas beaucoup de loisirs.
2. Le métro est plus pratique que l'autobus. La première ligne de métro parisien a ouvert en 1900, à l'occasion de l'Exposition universelle.
3. Paul a une soeur, Sylvie, qui habite à Lyon. Elle est professeur d'anglais et son mari, Jacques, travaille à la mairie. Sylvie a enseigné à Paris jusqu'en juin dernier. Bien sûr, elle voulait enseigner à Lyon dès le début. Mais on lui avait attribué un poste dans un lycée situé dans la banlieue parisienne et il fallait l'accepter. Cette année, elle a enfin obtenu sa mutation. Sylvie parle de tout cela à son amie Martine.

Martine : Tu dois être contente, Sylvie. Je sais que tu as mené une vie assez pénible

Sylvie : Oh oui! Autrefois, ma vie était difficile, car je faisais la navette entre Lyon et Paris deux fois par semaine. Je partais le matin très tôt pour prendre le TGV. Même avec le TGV, on met deux heures entre Lyon et Paris. Après deux heures de trajet, je prenais le métro à la Gare de Lyon pour aller jusqu'à mon lycée. J'avais dix-huit heures de cours à faire. De retour à Lyon, j'étais très fatiguée.

Martine : Où est-ce que tu enseignes maintenant ?

Sylvie : Dans un collège de la banlieue de Lyon. C'est à 20 minutes de chez moi en voiture. Tu peux imaginer comme je suis contente.

(3) 動詞 aimer を次の法・時制に活用させなさい。

1. 直説法現在
2. 直説法複合過去
3. 直説法単純未来
4. 直説法半過去
5. 条件法現在
6. 接続法現在

〈推薦図書〉

倉方 秀憲・東郷 雄二 他(編) 『プチ・ロワイヤル仏和辞典』〔第5版〕(2020年)

旺文社

久松 健一 『ケータイ〔万能〕フランス語文法 実践講義ノート』(2011年)

駿河台出版社